

小学校高学年ぐらいのころ読む本

本館にある本

<p><b>あかね色の空を見たよ</b></p> <p>堂野博之／作 出版社 高文研</p> <p>◎小5から中3までの5年間、不登校の苦しみ・不安・絶望を独特の詩と絵で表現。温かい仲間と先生たちに支えられ、あかね色の空・人間と人生への希望を見出すまでを綴った詩歌集。</p> <p>911ど</p>	<p><b>夏の庭—The Friends</b></p> <p>湯本香樹実／作 出版社 福武書店(他からも出版されています。)</p> <p>◎三人の少年達が、「死んだ人をこの目で見たい。」という好奇心から、一人暮らしの老人を見張りながら、老人が死ぬのを待つことから少年達と老人の交流がはじまります。</p> <p>J913ゆ</p>
<p><b>約束の庭</b></p> <p>ゆうきえみ／作 佐藤真紀子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎引っ越してきた、咲と丈のもう一つの記憶をさがす少年達の物語。幻想的な作品です。</p> <p>J913ゆ</p>	<p><b>ぼくがバイオリンを弾く理由（わけ）</b></p> <p>西村すぐり／作 スカイエマ／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎コンクールに落ちてしまい、バイオリンをやめようと決意したカイト。一枚の楽譜と出会ったことから、カイトの運命は変わっていきます。</p> <p>J913に</p>
<p><b>注文の多い料理店</b></p> <p>宮沢賢治／作 出版社 岩崎書店(他からも出版されています。)</p> <p>◎青年紳士が山奥に狩りに行きました。おなかを空かせて、見つけたレストランに入っていくと・・・!!!</p> <p>J913み</p>	<p><b>アンデルセン童話集</b></p> <p>アンデルセン／作 大畑末吉／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎アンデルセンはデンマークの童話作家で、有名なたくさん作品があります。空想的な話にも強く心を揺さぶられます。</p> <p>J949あ</p>
<p><b>ことわざ絵本Part1. 2</b></p> <p>五味太郎／作 出版社 岩崎書店</p> <p>◎誰もが知っていることわざが、挿絵やたとえとともに、おもしろく紹介されています。楽しくことわざが理解できます。</p> <p>J388ご</p>	<p><b>山のいのち</b></p> <p>立松和平／作 伊勢英子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎都会のコンクリート住宅のなかでひきこもっていた少年が、夏の間、田舎に住む祖父と暮します。森の緑や澄んだ川の流れ、小さな生き物の命の光が見えるようです。</p> <p>Eい</p>
<p><b>よみがえれ白いライオン</b></p> <p>マイケル・モーパーゴ／作 佐藤見果夢／訳 出版社 評論社</p> <p>◎アフリカの草原で出会った、孤独な少年パーディーと「白い王子」と呼ばれたライオンの、永遠に輝く愛と友情の物語です。</p> <p>J933も</p>	<p><b>13歳のハローワーク</b></p> <p>村上龍／文 はまのゆか／絵 出版社 幻冬舎</p> <p>◎いろいろなものに積極的に興味をもって、子どものころは「好きなこと」、成長したら「自分に向いている職業」にであうことができたらいいですよ。</p> <p>J366む</p>

<p><b>火垂るの墓</b></p> <p>高畑勲・近藤喜文・百瀬義行・保田夏代／作 出版社 徳間書店</p> <p>◎戦争に巻き込まれて、2人の兄妹が死んでいってしまう姿が描かれています。とても悲しいお話です。</p> <p>Eほ</p>	<p><b>フランダースの犬</b></p> <p>ウィーダ／作 中島潔／絵 大石真／訳 出版社 ポプラ社</p> <p>◎祖父と犬のパトラッシュと暮らしているネロは、貧しいながらも牛乳を売って生活していました。最後は大好きな絵の前で…。</p> <p>J933う</p>
<p><b>いっぼんの鉛筆のむこうに</b></p> <p>谷川俊太郎／文 堀内誠一／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎みんなが持っている鉛筆の出来るまでが、書かれています。いっぼんの鉛筆を作るためには、かぞえきれないおおぜいの人々が力を合わせています。</p> <p>J576た</p>	<p><b>ライオンと魔女</b></p> <p>C・Sルイス／作 瀬田貞二／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎4人の子も達が出会った不思議な冒険。衣装ダンスの扉の向こうには雪の世界がある！</p> <p>J933る</p>
<p><b>十五少年漂流記</b></p> <p>ジュール・ベルヌ／作 村井香葉／絵 谷真介／訳 出版社 ポプラ社（他の出版社の本もあります。）</p> <p>◎15人の少年を乗せた船「スラウギ号」は嵐によって漂流してしまいます。流れ着いた無人島での生活が始まります。</p> <p>J953べ</p>	<p><b>アルプスの少女ハイジ</b></p> <p>スピリ／作 若林ひとみ／文 田村セツコ／絵 出版社 ポプラ社（他の出版社の本もあります。）</p> <p>◎幼い時に両親を亡くしたハイジは、祖父のいるアルムの山で暮らします。大自然に生きる動物達と人々と共に元気に明るく育っていきます。</p> <p>J943す</p>
<p><b>しまのないトラ</b></p> <p>斉藤洋／作 広川沙映子／絵 出版社 偕成社</p> <p>◎仲間とは少し違う動物がいます。それは、悪いこと？良いこと？5つの物語が入っています。</p> <p>J913さ</p>	<p><b>ハッピーバースデー</b></p> <p>青木和雄／作 加藤美紀／絵 出版社 金の星社</p> <p>◎とても感動します。いじめ・虐待など…。親子で読める本です。</p> <p>J913あ</p>
<p><b>指輪物語</b></p> <p>J・R・R・トールキン／作 瀬田貞二・田中明子／訳 出版社 評論社</p> <p>◎小さな指輪の物語です。6部からなり、長編です。</p> <p>外国文学 933と</p>	<p><b>たのしい川べ</b></p> <p>岩波世界児童文学集 ケネス・グレイアム／作 E・H・シェパード／絵 石井桃子／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎イギリスの田舎の風景。モグラ・ネズミ・ヒキガエル・アナグマが登場します。</p> <p>J908 い4</p>

<p><b>ヨンじいちゃん</b></p> <p>ベーターニヘルトリング／作・絵 上田真而子／訳 出版社 偕成社</p> <p>◎ひとり暮らしのおじいちゃんと一緒に生活を始めてから、亡くなるまでのお話です。在宅で介護など、家族の大切さを実感します。</p> <p>J943へ</p>	<p><b>ガラスのうさぎ</b></p> <p>高木敏子／著 出版社 金の星社</p> <p>◎昭和20年の東京大空襲で、敏子は母と2人の妹を亡くしてしまった。家の焼け跡から、ガラスのうさぎを掘り出します。</p> <p>J913た</p>
---	---

南下浦分館にある本

<p><b>長くつ下のピッピ</b></p> <p>アストリッド・リンドグレン／作 大塚勇三／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎サルと一緒に自由気ままに暮らしているピッピは、子どもたちの憧れの的。ピッピの服装や生活、行動の大胆さ、発想の奇抜さが何もかも面白いです。</p> <p>J949り</p>	<p><b>あかね色の空を見たよ</b></p> <p>堂野博之／作 出版社 高文研</p> <p>◎映画化された作品です。定時制高校の仲間を支えられ、5年間の不登校の苦しみから立ち直り、あかね色の空＝人生の希望を見るまでをつづった詩歌集です。</p> <p>911ど</p>
<p><b>夏の庭—The Friends</b></p> <p>湯本香樹実／作 出版社 福武書店(他からも出版されています。)</p> <p>◎気難しかった老人が、少年たちとの交流を通して打ち解けていきます。きっかけは少年たちの「人が死ぬところを見たい」という少し残酷な好奇心でしたが、心温まる一冊です。</p> <p>J913ゆ</p>	<p><b>約束の庭</b></p> <p>ゆうきえみ／作 佐藤真紀子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎丈の中には死んでしまった兄・翔の人格が宿っている…？翔と咲は、翔と丈の両親の不和解決のために動き出す…最後まで読むと心が温かくなります。</p> <p>J913ゆ</p>
<p><b>冒険者たち</b></p> <p>斎藤惇夫／作 藪内正幸／画 出版社 岩波書店</p> <p>◎イタチと戦う島ネズミを助けに、ドブネズミのガンバと15匹の仲間たちが夢見が島へ渡りました。「小さな物たちでも、力を合わせれば大きな力になる！」</p> <p>J913さ</p>	<p><b>黒魔女コンテスト</b></p> <p>エヴァ・イボットソン／作 三辺律子／訳 出版社 偕成社</p> <p>◎北の大魔法使いアリマンは、花嫁を選ぶのにコンテストを開きます。集まってきたのは、7人の黒魔女たちです。</p> <p>J933い</p>
<p><b>チョコレート工場の秘密</b></p> <p>ロアルド・ダール／作 田村隆一／訳 出版社 評論社</p> <p>◎少年チャーリーはチョコレート工場を見学することになった。その工場は秘密がいっぱい！！読んでみると、甘いチョコレートの香りが・・・。</p> <p>GJ933だ</p>	<p><b>ことわざ絵本Part1. 2</b></p> <p>五味太郎／作 出版社 岩崎書店</p> <p>◎「出る杭は打たれる」を「美人はつらいよ」、「花より団子」を「パンダよりパンだ」というように、ことわざを現代風に面白く解説しています。</p> <p>J388ご</p>

<p><b>山のいのち</b></p> <p>立松和平／作 伊勢英子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎心を閉ざした少年・静一と、静一を自分の息子だと思っ込んでいる痴呆症の祖父。両親の海外出張の間に一緒に暮らすことになった二人を、山の自然が包み込みます。祖父がイタチを殺すシーンなどがあるため、高学年向きです。</p> <p>Eい</p>	<p><b>西の魔女が死んだ</b></p> <p>梨木香歩／著 出版社 新潮社</p> <p>◎主人公「まい」の元に、おばあちゃんが危篤だと連絡がきます。まいは、二年前におばあちゃんと過ごしたことを思い出します。</p> <p>文庫 B913な</p>
<p><b>13歳のハローワーク</b></p> <p>村上龍／文 はまのゆか／絵 出版社 幻冬舎</p> <p>◎同じタイトルのホームページもあります。小学生のうちから、自分がしてみたいこと、どんな仕事か世の中にあるのか、夢を膨らませてみませんか。</p> <p>J366む</p>	<p><b>ヘレン・ケラー</b></p> <p>山口正重／作 出版社 ポプラ社</p> <p>◎ヘレンケラーは、幼い時視聴覚に障害をもち、話をすることもできなかつた。サリバン先生との出会いによって、克服していく。感動の一冊です。</p> <p>J289へ</p>
<p><b>百まいのドレス</b></p> <p>エレナー・エステイス／著 ルイス・スロポドキン／絵 石井桃子／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎ワンダという少女は、いつも同じはげちよろけの青いワンピースを着ています。みんなの前で「百枚のドレスを持っている」と。クラスの女の子達はワンダをからかいます。</p> <p>J933え</p>	<p><b>ライオンと魔女</b></p> <p>C・Sルイス／作 瀬田貞二／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎ナルニア国物語として有名な、映画化もされた壮大な冒険活劇です！</p> <p>J933る</p>
<p><b>はだしのゲン</b></p> <p>中沢啓治／原作 深沢一夫／作 出版社 汐文社</p> <p>◎主人公ゲンは、原爆で父・妹・弟の3人を亡くしながらも、たくましく生きていく姿が描かれています。</p> <p>Eな</p>	<p><b>しまのないトラ</b></p> <p>斉藤洋／作 広川沙映子／絵 出版社 偕成社</p> <p>◎しまのないトラ、つのがないパイソン、しっぽのみじかいマングース、足のあるへび、八本足のイカと十本足のタコ…みんなと違うから悲しい思いをしたこともあったけれども、アイデアと努力と勇気で、最後には自分らしい生き方を見つけます！</p> <p>J913さ</p>
<p><b>ガラスのうさぎ</b></p> <p>高木敏子／著 出版社 金の星社</p> <p>◎タイトルになっているガラスのうさぎの置物は、熱で溶けてしまい、空襲の壮絶さを物語ります。母と妹に続き、父の葬儀も出さなければならなくなつた主人公・敏子は、兄が復員してくれただけでよかったと自分を鼓舞し強く生き抜きます。</p> <p>J913た</p>	<p><b>ほんもののプレゼント</b></p> <p>オー＝ヘンリー／作 東逸子／絵 岸田今日子／訳 出版社 偕成社</p> <p>◎心のこもつたほんもののプレゼント。贈り物の本当の意味に気づかせてくれる物語です。</p> <p>GJ933へ</p>

<p><b>ハッピーバースデー</b>  <b>青木和雄／作 加藤美紀／絵</b>  <b>出版社 金の星社</b></p> <p>◎兄ばかり愛する母によって、声を失ってしまった主人公。母方の祖父母に預けられ、彼らの献身により声を取り戻しますが、そこで見つけた母の日記を読み、母も自分と同じ苦しみを味わっていたことを知ります。その後の主人公の決断とは…色々と考えさせられる一冊です。  J913あ</p>	<p><b>星の王子さま</b>  <b>サン・テグジュペリ／作 内藤濯／訳</b>  <b>出版社 岩波書店</b></p> <p>◎「ぼく」はサハラ砂漠に不時着してしまいます。そこで王子さまに出会います。とてもいいお話です。  J953さ</p>
--	---

<p><b>ヨーンじいちゃん</b>  <b>ベーターニヘルトリング／作・絵 上田真而子／訳</b>  <b>出版社 偕成社</b></p> <p>◎ヨーンじいちゃんは歳をとっていても元気いっぱい！Tシャツのろうけつ染めだってするし、恋をして恋人も作ってしまうのだ。でも、そんなじいちゃんも、だんだん衰えていき、最期を迎えることとなり…。お年寄りの命の輝きと周囲の看取りを描いた名作です。  J943へ</p>
---

初声分館にある本

<p><b>夏の庭—The Friends</b>  <b>湯本香樹実／作</b>  <b>出版社 福武書店(他からも出版されています。)</b></p> <p>◎少年たちと老人のひと夏の交流が描かれます。少年たちは老人から色々なことを教わり、忘れられない思い出を得ます。そして、老人は少年たちにより、罪の意識の苦しみから解放され、安らかな最期を迎えます。  J913ゆ</p>	<p><b>魔女の宅急便</b>  <b>角野栄子／作 林明子／画</b>  <b>出版社 福音館書店</b></p> <p>◎主人公のキキが親元を離れて、知らない町で魔女として一人立ちをします。周囲の人々とのつながりの中で、悩みながら成長していきます。  J913か</p>
<p><b>ぼくがバイオリンを弾く理由 (わけ)</b>  <b>西村すぐり／作 スカイエマ／絵</b>  <b>出版社 ポプラ社</b></p> <p>◎いわゆる「天才」である主人公カイトと、彼の才能を育てるために熱意を傾ける大人たちが出てきます。コンクールに落ちたことによりバイオリンを封印しようとしていたカイトが、再びバイオリンを弾き始めたきっかけとは…？  J913に</p>	<p><b>太陽の子</b>  <b>灰谷健次郎／作</b>  <b>出版社 理論社</b></p> <p>◎料理店の人気者で太陽のように明るく元気なふうちゃんを中心に、お店に集まる沖縄出身の人達の心温まる物語です。  小説 913は</p>
<p><b>1つぶのおこめ</b>  <b>デミ／作・絵 さくまゆみこ／訳</b>  <b>出版社 光村教育図書</b></p> <p>◎さんすうのむかしばなし。今日は1つぶ、明日は2つぶ、あさっては4つぶ、しあさっては8つぶ…。前の日の倍のお米をもらっていくと、30日目には何つぶになる？  Eで</p>	<p><b>大きな木のような人</b>  <b>いせひでこ／作 ジョルジュ・メテリエ／監修他</b>  <b>出版社 講談社</b></p> <p>◎パリの植物園に通う少女と、植物学者のお話です。素敵な気持ちになれる本です。  Eい</p>

<p><b>ことわざ絵本Part1. 2</b></p> <p>五味太郎／作 出版社 岩崎書店</p> <p>◎小学生でも読める簡単な文章ですが、大人が読んでも面白いのでお勧めです！</p> <p>J388ご</p>	<p><b>チョコレート工場の秘密</b></p> <p>ロアルド・ダール／作 田村隆一／訳 出版社 評論社</p> <p>◎「チャーリーとチョコレート工場」として映画化された作品です。とても不思議なチョコレート工場、ぜひチャーリーの気分で見学してみてください！</p> <p>GJ933だ</p>
<p><b>木を植えた男</b></p> <p>ジャン・ジオノ／作 フレデリック・バック／絵 寺岡襄／訳 出版社 あすなろ書房</p> <p>◎一人の男が荒地に種を撒き、何万本もの木を育て森がつけられた。森には水が湧き、人々が移り住み、豊かな耕地となった。静かな話の中に、人間のすばらしさが描かれています。</p> <p>Eば</p>	<p><b>山のいのち</b></p> <p>立松和平／作 伊勢英子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎最初から最後まで、どのページにも緑がたくさん使われています。「山の中のものには無駄がない」という祖父の言葉が、食物連鎖、命の繋がりを伝えてくれます。</p> <p>Eい</p>
<p><b>13歳のハローワーク</b></p> <p>村上龍／文 はまのゆか／絵 出版社 幻冬舎</p> <p>◎世の中の仕組み、色々な職業、その職業につくための資格等が学べる、社会に出る前にぜひ読んでほしいガイドブックです。</p> <p>J366む</p>	<p><b>よみがえれ白いライオン</b></p> <p>マイケル・モーパーゴ／作 佐藤見果夢／訳 出版社 評論社</p> <p>◎アフリカの草原で出会った白いライオンと少年が、時を経て戦時下のフランスで再び巡り合います。永遠の絆と愛を描いた一作です。予想外のラストもご覧ください。</p> <p>J933も</p>
<p><b>半分のふるさと</b></p> <p>イ・サンクム／文 帆足次郎／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎戦前の日本に生まれた韓国人女性が、日本に住んでいた子ども時代を描いた一冊です。</p> <p>J916い</p>	<p><b>ヘレン・ケラー</b></p> <p>山口正重／作 出版社 ポプラ社</p> <p>◎目が見えない、耳が聞こえない、しゃべれないという三重苦に負けず道を切り開いた、「奇跡の人」ヘレン・ケラーの生涯をつづった一冊です。</p> <p>J289へ</p>
<p><b>十五少年漂流記</b></p> <p>ジュール・ベルヌ／作 村井香葉／絵 谷真介／訳 出版社 ポプラ社（他の出版社の本もあります。）</p> <p>◎大統領を定めてみたり、アザラシを狩って調理してみたり、果ては大砲まで撃ってしまう…少年たちのサバイバル能力の高さにただただ目をみはるばかりです。</p> <p>J953べ</p>	<p><b>ライオンと魔女</b></p> <p>C・Sルイス／作 瀬田貞二／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎魔女の呪いで冬に閉ざされたナルニア国を救うため、子どもたちは救い主・ライオンのアスランと戦います。</p> <p>J933る</p>

<p><b>しまふくろうのみずうみ</b></p> <p>手島圭三郎／作・絵 出版社 福武書店</p> <p>◎山奥に住むふくろうの親子の一日を描いた作品です。版画の絵で迫力があります。</p> <p>Eて</p>	<p><b>ガラスのうさぎ</b></p> <p>高木敏子／著 出版社 金の星社</p> <p>◎東京大空襲で、両親も妹も亡くした敏子。つらい生活が待ち受けますが、復員した兄がいなければ自分も路上で靴磨きをしなければならなかったのだからと自分に言い聞かせます。戦争で犠牲になる子どもたちの姿が描かれています。</p> <p>J913た</p>
<p><b>ヨーンじいちゃん</b></p> <p>ベーター＝ヘルトリング／作・絵 上田真而子／訳 出版社 偕成社</p> <p>◎頑固だけど心優しいヨーンじいちゃん、やりたいことはなんでも我慢しないヨーンじいちゃんに、ドキドキワクワクしながら読み進めてください。</p> <p>J943へ</p>	<p><b>星の王子さま</b></p> <p>サン・テグジュペリ／作 内藤濯／訳 出版社 岩波書店</p> <p>◎「かんじんなことは目に見えないんだよ」など、数々の名言を残した不朽の名作です。大人も考えさせられる、最後は切ない思いの残る一冊です。</p> <p>J953さ</p>
<p><b>宝島</b></p> <p>ロバート・スチブソン／作 出版社 ポプラ社</p> <p>◎海賊に憧れて少年達は旅立ちます。かくされた財宝は、手に入るのでしょうか？</p> <p>J933す</p>	